

2021/10/17 会山行イチャンコッペ山: 秋と冬を行き来する山旅

CL長沼、A-SL後藤、B-SL佐藤、八重樫、笹山、竹内、光浪、内條、工藤、山田、小笠原、増川、太田、会員9名、山歩G4名
天候: みぞれのち晴れ時々小雪、気温3~9℃、距離7.5Km、所要5時間07分、登り2時間10分、獲得標高800m

この週末は寒波襲来、中山峠では積雪、手稲山初冠雪のニュースが届いた。本来なら市民登山会でわいわいとはずが2年続けての中止、残念。晩秋と冬を行ったり来たり、刻一刻変化する空の下、楽しく歩きましたよ。



ポロピナイ駐車場、晴れ、皆様の行いの賜物 体操して出発、8:47、いきなり急登でヒーファー



8:58



9:28



9:46



9:58



カラス、うさぎ、へび、リス、クマ、蜂、フクロウ、キノコ、山頂ではタヌキと狐がお出迎え、かわいらしい合目標識

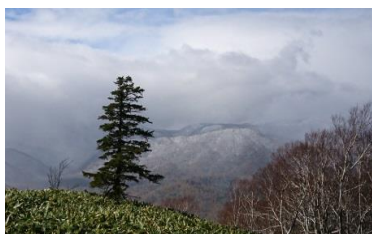


- ・ みぞれ、落ち葉、冷たい雨の紅葉、晴れ、シルバー湖面、次々と変わる景色
- ・ 上空1万メートルでは秋と冬のせめぎあい。時々ゴウゴウと冬が吠える。

- ・実はこの山行、最大の難関は「駐車場確保」でした。今年はアウトドアブームで登山者が急増したのか、札幌近郊の山はどこ也大盛況。恵庭か紋別岳かモーラップ山か、駐車場を求めて彷徨う山行の様相でしたが、天気のせいかそれ程混まず、すんなりイチャンコッペに停めることができました。長沼リーダーはさぞや気をもんだことでしょう。カッパを着ると暑いけど、時折冷たい北風に吹かれ体感温度が乱高下でした。



11:00 山頂到着、小雪がちらちら、風も冷たく湖面は雪雲に隠されています。



- ・漁、小漁、空沼方面は冬の空、恵庭の火口にうっすらと積雪、風不死岳方面は晴れ



下山途中、3合目からやぶ突入
冬限定の幌平山まで激藪コギ

晴れたり降ったり、冷たい風と温かい日差しが同居する不思議な天気でした。秋と冬が押し合いへし合い。最後は秋の勝ち、支笏湖ブルーで締めくくりました。冬の訪れはもう少し後にしてくださいませ。

太田記